

ダイワコーポとコロセウム

日韓物流で業務提携

供給網の最適化推進

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は19日、韓国のグローバルDX（デジタルトランスフォーメーション）物流企業Colosseum Corporation（コロセウム）の日本法人

であるColosseum Japan（ユ・インヒョン社長、台東区）と2025年12月20日に業務提携を結んだ、と発表した。業務提携により、両国間の物流協力体制を構築し、国境を越える物流をより安定的かつ標準化された構造へ高度化することを目標とする。保管、出庫、運送、ラストマイル、通関など、

物流サービスの全段階で協力を進め、データと現場運営の専門性を組み合わせた共同事業を推進していく。

韓国のコロセウムは19年の設立以降、AI（人工知能）ベースのSaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）型倉庫管理システム「Colo AI」を基

盤に、韓国内外で50以上の物流センターを展開。物流自動化設備・設備、ミドル・ラストマイル配送網など多様な物流インフラを連携させている。

自社で倉庫を建設するのではなく、未活用施設や遊休労働力を高性能な物流ハブへ変え、韓国を代表する

物流テックの革新企業となっている。25年に日本法人を設立し、急成長する日本のEC（電子商取引）物流市場へ本格的に進出した。業務提携をきっかけに、

を共同で構築し、品質とリードタイムを安定的に維持できる物流環境を整える。曾根社長は「コロセウムの先進的な物流ノウハウと当社の基盤を統合し、サプライチェーン（供給網）の

最適化を推進する。相互の強みを生かした効率的な物流モデルを確立し、持続可能な国際物流の実現と事業成長を加速させる」としている。

（田中寛之）